

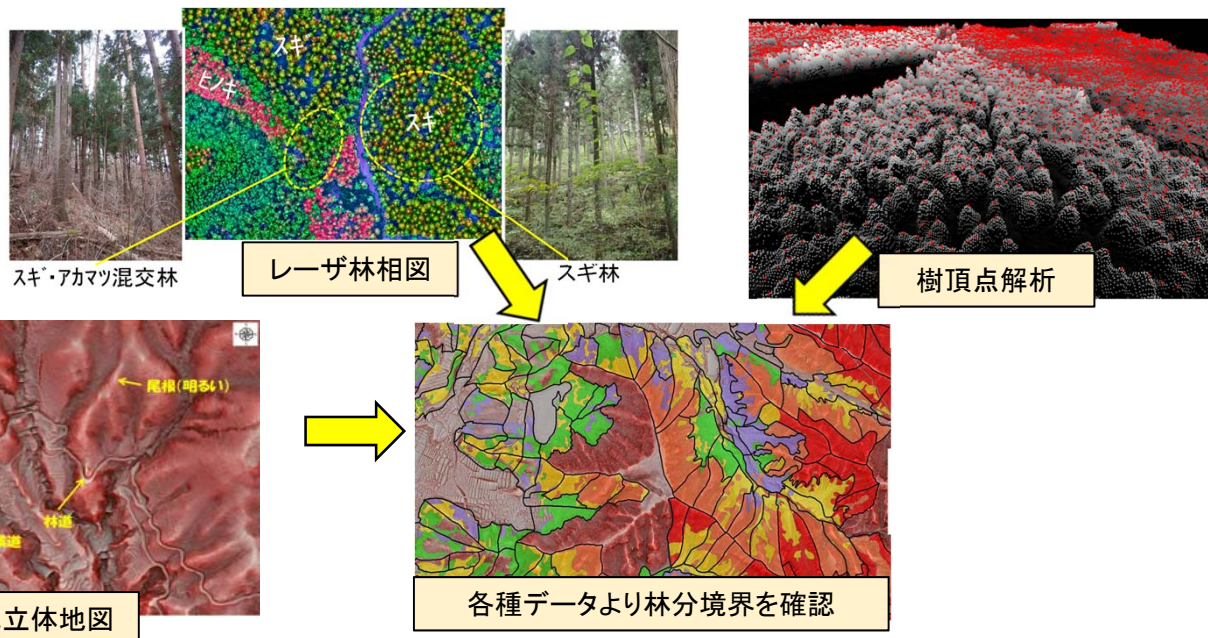
# レーザーデータを利用した森林境界を明確化する技術

## 概要

- 航空レーザーデータの反射パルス特性が樹種ごとに異なる特性を利用し、高精度な林相図(特許第5592855号)を作成。
- 主要林業樹種である針葉樹については、レーザーの反射位置から樹頂点を抽出、単木の位置・樹高計測を実施し、密度区分図や樹高区分図を作成。(樹頂点抽出:特許第4279894号)
- 小さな窪地や尾根谷などの微地形境界については、赤色立体地図(特許第3670274号)を作成することで、精密に抽出。
- これらの情報などを重ね合わせることで、林分の境界素案を作成。
- 既存レーザーデータの使用可能。
- また、上記の解析データは、単木毎の材積推定や路網計画支援などの機能を有した森林マネジメント支援システム「ALANDIS+ Forest」での運用が可能。

## 導入効果

- 従来のオルソ写真に比べて、樹種の認識がし易い、雲影が発生しない、歪みが少ない林相判読が行えるため、水平精度の高い林相識別が可能。
- また、タブレット・スマートフォンアプリ「Forest Track」との連携により、解析データや図面データ等の出力・持ち運びが可能。(インターネット環境不要・場所を選ばず何処でも操作可能)



## ○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	<b>林業</b>		その他

## ○該当するニーズ

項目	林業(1)計画
技術ニーズ	境界管理
具体的なニーズの内容	航空レーザー計測データ、ドローンによる空中写真等により林分の境界を自動で認識する技術

## ○開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	
一般販売中	
その他	

☎連絡先  
 アジア航測株式会社  
 TEL:044-967-6410  
<https://www.ajiko.co.jp/contact/>